

まちづくり懇談会を開催

10月13日から23日に町内の各地区において、まちづくり懇談会を開催し59名の町民の方に参加いただきました。小関町長からはふるさと創生総合戦略の取り組みを中心としたまちづくりの報告、菅原教育長からは教育の在り方検討委員会の報告を行い、みなさんと意見交換を行いました。その内容をお知らせします。

● 総合戦略の推進

賑わい拠点施設に4月21日にオープンしたミニスーパーは概ね順調であると報告を受けている。カフェ、図書館などが入る多目的交流棟の建設に着手し、来春オープンを予定している。

旧湯原小学校をふるさと体験交流館として宿泊施設への改修工事に着手しており、スポーツ合宿や各種団体などの誘客を図り、滞在型の交流人口拡大を目指す。

七ヶ宿ブランド事業や七ヶ宿ファンクラブ事業が実施され、特産品の認定及び販売促進や町のファンを増やして移住希望者の掘り起こしを行っている。

意見交換

Q パイプハウスリース事業で作付しているが来年度も放射能検査は必要なのか。

A 検査を行ったものを販売することが安心して購入していたことが繋がると考えている。検査は引き続きお願いする。

Q パイプハウスリース事業での売上が向上しているのは、道の駅や旬の市の直売所で販売したものが、個人での販売なのか。また、今後リース事業は続くのか。

A 直売所(旬の市、道の駅)の品物を増やすことを目的とするため、直売所での販売をしていただきたい。来年度まで事業を継続していく。

Q イノシシ被害拡大に対する対策はないか。

A 防護柵などで囲われていないところが被害を受けているため、町では防護柵設置に対する補助を進めている。現在、駆除のために罾や猟銃の資格取得者

らし研究所が窓口となっている移住相談も増えており、徐々に七ヶ宿の認知度も上がっている。

● 農業関係

中山間総合整備事業「第3期地区」の計画認定に向けて事業を推進している。

有害鳥獣対策として今年から「中山間地域所得向上支援事業」に取組み、防護柵を12団地、16kmの設置を年内に完成予定である。

● 林業関係

町内林業の活性化を図るため、道ばた林業のモデル地区を選定し実施を検討している。

賑わい拠点エリアに木質バイ

が増えており、町では資格取得のために助成を行っているので活用してください。

Q 電気柵の補助はまだ申請可能か。

A 予算に限りはあるものの、担当の農林建設課に相談してください。

Q ダム公園の遊具を撤去したことで利用者が減ったのではないか、パークゴルフ場を増設したが幅広い年齢層が楽しめるダム公園であるべきではないか。

A ダム公園内の施設も古くなっていくことから、遊具施設も含め見直しを図っていきたくもしている。

Q 芸術の里づくり事業の具体的な内容について教えてほしい。

A 地域おこし協力隊と無限の会(西山学院を拠点に活動する陶芸愛好団体)が協力して、七ヶ宿町の土を使い、七ヶ宿焼きを創作する活動を通して芸術や文化を育てたいと考えている。

Q まちづくり株式会社はどのようなことをしていくのか。

オマスを活用するための入浴施設の建設を予定している。

● 商工・観光関係

地元消費拡大と小売業の活性化を図るためプレミアム商品券の発行に対して支援を行った。

わらじで歩こう七ヶ宿をはじめイベントを行い、交流人口の拡大を図っている。

長老湖周辺の観光による活性化を図るため、長老湖駐車場と県道51号のアクセス道路の改良設計を進めている。

ダム公園内には新たなパークゴルフ場を増設した。

● 国保診療所関係

4月1日に内科の吉野医師が所長として赴任した。4月から歯科部門を東北大学歯学部が支援を受け週2回の診療を行っている。

10月1日から看護師1名を採用し、診療体制の充実を図った。

● 教育関係

児童・生徒の減少や老朽化した施設に対応するため、「七ヶ宿町の教育の在り方検討委員会」を立ち上げ、意見交換を行っ

A 民間と町が出資し設立した法人であり、賑わい拠点エリアの管理運営を中心にイベントの仕掛けなどを行って賑わいのあるまちづくりを行う。

Q ふるさと体験交流館の年間稼働率等を伺いたい。

A 開業後の運営計画では、稼働率は20%を見込み、宿泊収容人数は60人規模を予定している。

Q 老後に安心して暮らせる施設を考えてほしい。

A 宮城福祉会に施設の増床を引き続き要望していく。町内の民間老人ホームや社会福祉協議会のデイサービスなどを組合せて安心感を高めていきたいと考えている。

Q 携帯電話の通話ができないスポットがあり、事業者への改善を働きかけてほしい。

A どのような方法があるかも含め、事業者に要望していく。

Q 廃屋の解決を町として努力してほしい。

A これまで所有者に文書での

ている。放課後児童クラブを教育委員会管理として開発センターで実施している。

9月から学習塾の先生に来ていただき、高校受験の勉強会を開催して学力の向上及び保護者負担の軽減を図っている。

● 農林業系廃棄物処理

7月15日の市町村長会議において、試験焼却を実施することが決定し、仙南地域広域行政事務組合では、仙南クリーンセンターで11月中旬から約7ヶ月間をかけて試験焼却を行い、放射性セシウム濃度等の検証を行うこととした。

本町で保管している牧草は、表土により埋設していることから、試験焼却処理は行わず、他での試験焼却に問題がなければ、本格焼却時に処理をする計画とする。

● 太陽光発電事業

5月26日、柏木山放牧場でのメガソーラー事業工事の安全祈願祭が行われ工事に着手した。平成30年10月の発電開始を目指す。

通知をしているが、改めて表現を工夫するなど所有者に通知していく。

Q 小中一貫教育については、いつ頃までを想定しているのか。また、教職員の数や校舎はどうなるのか。

A 教育の在り方検討委員会で話し合いを進めており、より良い教育環境の整備と充実した学校教育等について検討している。検討した内容等は、広報紙でお知らせしていく。

